

議 事 録 要 旨

| | |
|-----|--|
| 会議名 | 第2回芦原温泉駅まちづくりデザイン部会 |
| 日 時 | 令和3年1月25日（月） 19:00～20:45 |
| 場 所 | あわら市役所 正庁 |
| 出席者 | <p><部会員> 市民／笹原修之（部会長）、西田幸男、八木康史 福井工業大学／川島洋一（教授） （一社）あわら市観光協会／津田香由紀 あわら市文化協議会／堀田あけみ あわら市商工会青年部／松川秀仁 福井県農業協同組合／深町治男 野菜ソムリエコミュニティ福井／土橋登喜雄 音泉組／青柳淳一 農家カフェ／藤井和代 ゲンキッズステーション ASOVIVA!／長田康秀</p> <p><事務局> 土木部／永井部長 経済産業部／武田部長 新幹線まちづくり課／山本課長、翠補佐、木村主査 商工労働課／堀川主査 観光振興課／赤神補佐 西口管理運営準備室／笹井室長</p> <p><オブザーバー> あわら市／佐々木市長 (株)コム計画研究所／鈴木奈緒子</p> |
| 欠席者 | <p><部会員> 市民／高木めぐみ 市民／森嗣一郎 芦原温泉旅館協同組合／山口賢司</p> |
| 内 容 | <p>1 開 会 2 部会長あいさつ <u>部会長：</u> ・新幹線開業が1年延期となったが、デザイン部会でソフト事業や賑わい施設の利活用の意見をまとめる時間が出来た。今回は、各種団体に賑わい施設の利活用について様々な意見がでたものを事務局がまとめてもらった。各月のイベントや他のイベントとの組み合わせなど想像できるような表に作りこんでいかなければならない。前向きな議論を重ねて進めていきたい。</p> |

3 報告事項

(1) 前回の課題について

事務局：

- ・資料1を基に、前回の課題を回答

(2) (仮称) 賑わい施設について

事務局：

- ・資料2を基に、賑わい施設の飲食物販店舗選定業者の内容を説明

事務局：

- ・報告事項(1)～(2)の説明について、質問等があればお願いしたい。

部会員：

- ・荷物の宅配をする配送サービス業者が賑わい施設内に入る予定はあるか。

事務局：

- ・観光案内所内に配送サービス業者を入れる予定である。

4 協議事項

(1) (仮称) 賑わい施設イベントについて

事務局：

- ・プレイヤーである部会員の皆様に、事前に提出していただいた内容をまとめた。イベントを食・文化・スポーツ・音楽・その他と市のイベントと項目別に分けている。開催時期も通年でできるものから、4月から3月まで、月別に行うイベントと分けた。皆さんとイメージを膨らませ、共有したいと思うので、順番に話していただきたい。

部会員：

- ・新富繁栄会としては、会員が減少しているので活動が厳しい状況である。ちはやふる関連は協力できると思う。

部会員：

- ・商工会青年部としては、年間を通して1つか2つのイベントは出来ると思う。日本酒フェスはできる気がする。他には商工会として、商工フェスタのサテライト会場として活用できそうである。職業体験イベントも考えられる。

部会員：

- ・毎週、週末イベントしているのが理想である。
- ・食関係を考えられるものをあげた。ただイベントをするだけでなく集客があることで賑わいがうまれる。
- ・各種団体と相談しながら集客に重きをおいてイベントをしていきたい。

事務局：

- ・食関係を多数あげていただいたが、収益はあげられそうか。

部会員：

- ・全て収益をあげられるものではないが、工夫して開催していく必要がある。

事務局：

- ・利用料金について、現在検討中である。収益事業については、利用料金をいただこうと
思っている。半年前から予約できるようなシステムにしていきたい。

部会員：

- ・旬にいいものをだしていきたいが、イベントをPRする方法を検討すべきである。
- ・学生に新しい発想を打ち出してもらい企画から携わってもらうのもよい。

部会員：

- ・a キューブやトリムパークの野外ステージでジャズやアイドルの音楽イベントをしている
ものを賑わい施設でも開催したい。

部会員：

- ・ASOVIVA！体験を現会員の友達や親子体験を考えている。運動能力測定は、a キューブで
試験的に先日行った。福井工業大学と連携して4月にイベントを行おうと考えている。

部会員：

- ・携わったイベントを記載した。現在、知人が岡山の商店街でドローンレースをしている
ので賑わい施設で出来ないかと考えている。その他に、福井大学医学部の学生が医療の
ファッションショーをやりたいと言っているのでできないかと考えている。
- ・ホールでドローンを使用できるか。

市長：

- ・人が通る場所は開けておかないと駅利用者に迷惑がかかる。

事務局：

- ・駅利用者やトイレ利用者の動線を外せば可能である。

部会員：

- ・音響、水回り、照明がどの程度のものか、ステージの準備は誰がするのかなど問題点は
あるが、1年を通して展示等はできるのではないかと思う。金津まつり近くになると太
鼓の練習で活用できると思うが、音の大きさ等で地域住民に認めてもらえるか心配であ
る。

事務局：

- ・現在、施設のルールをマニュアル化しようとしているので皆さんの意見を伺っていきた
い。音楽イベントの場合、個別に機材が必要になると思う。金津まつりの太鼓の練習は、
機運を高めるためか。

部会員：

- ・子どもの頑張っている姿を見てもらいたいという思いがある。

市長：

- ・用意できるステージの大きさが決まってくるので難しい部分もあると考えられる。
- ・音楽イベントは、大規模な準備となるとどこかに委託して開催してもらう必要があると
思う。

部会員：

- ・マルシェをしたいという思いを以前から聞いているが、あわら市の農業者は、生産で手
一杯で売ることが難しいと思う。逆に園芸カレッジや県立大学の創造農学科などは売る
場所がなくて困っているのを聞いたので、そういった人に活用してもらおうとよい。

- ・ステージ設置などの裏方の仕事が課題だと感じている。例えば就労支援施設（ハスの実など）との連携も検討してはどうか。
- ・今後、多文化共生取り入れたイベントもよいと思う。

市長：

- ・イタリアのトリノで本格的なマルシェを見たが、それは無理だと思う。しかし、あちらにはそれらしきものができるポテンシャルがある。仕組みを作れば季節ごとにマルシェができると思う。

部会員：

- ・湯のまち広場を管理しているのでそこを活用しているイベントを挙げた。
- ・例えば全国の物産市の開催は可能か。
- ・ペットの利用は可能か。

事務局：

- ・物産市は可能であるが、駅の待合機能も兼ねているため支障にならないければ大丈夫である。
- ・ペットは、今後マニュアル化する際に検討していく。

部会員：

- ・賑わい施設の愛称は公募するのか。

事務局：

- ・募集し、令和4年の夏ごろには決定する。

部会員：

- ・現在、大学で43の公開講座を開催している。賑わい施設だとスポーツや音楽のイベントが開催できると考えられる。

部会長：

- ・共通した不安として音響設備で毎回業者に委託料を支払うというところがある。備え付けのスピーカー等があるのか明確になっていないので不安がある。
- ・食のイベントでは、テントや移動式ワゴンが備え付けられており、そういったものを活用して開催させてもらえるのかといった不安もあるので備品類を示すとよい。
- ・場所があるから自由に何かしてくださいが一番やりにくい。食やステージイベント等のジャンルによって展示物等の装いを変えていった方がよい。
- ・各種イベントで単独開催が難しいものを組み合わせてプロデュースしていく部分が大事になってくる。

事務局：

- ・音響については、ホールについてはある程度準備する。ステージは9m×4.5mを用意する。ワゴンについては、ワークショップで皆さんと一緒に考えていきたい。
- ・展示は、ふるさと回廊というスペースを利用していくことも考えられる。

部会長：

- ・ふるさと回廊は、雨風を防ぐことはできるか。

事務局：

- ・風を完全に防ぐことはできない。

市長：

- ・広場やホールのソフト面については、コロナ収束状況によるが、各地域のイベントを職員に研修させようと思う。管理については、新たな部署で検討していく。

事務局：

- ・今いただいた内容を、どのイベントが通年なのかいつ行うのか、どの場所で行うのかなど、市内部でもう一度整理し、来年度の部会で再度提出したいと思う。また、ご意見があれば、その都度、事務局までお伝えしていただければと思うので、よろしくお願いしたい。

(2) 来年度以降のスケジュールについて

事務局：

- ・資料4を基に、説明

5 その他

【次回開催日時】

- ・来年度の6月開催予定

7 閉会

事務局：

- ・長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがたい。備品等については、次回わかりやくすく示したい。イベント想定表については整理させていただく。今後とも皆様のご協力をお願いしたい。